

防災科研の Hi-net 高感度地震観測網で観測された 御嶽山の噴火に伴う火山性微動

平成 26 年 9 月 27 日 11 時 52 分頃、御嶽山にて水蒸気噴火が発生しました。噴火により亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被害にあわれた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

(独) 防災科学技術研究所は、人間が感じるできない非常に小さな地震による揺れを観測できる Hi-net 高感度地震観測網*を運用しています。御嶽山の噴火口から北東に 11km 離れた開田高感度地震観測施設(N. KADH) (図 1) では、噴火発生の約 11 分前から火山性微動が観測され、11 時 52 分頃から噴火に伴うと考えられる火山性微動が約 30 分程度観測されました(図 2)。その後も、振幅は小さいものの、噴火活動に関連する火山性微動や火山性地震が観測されています。

この観測データは、今回の火山噴火の発生メカニズムを解明するための研究に使われる他、気象庁にもリアルタイムで伝送され、火山監視に利用されています。

* 高感度地震観測網 (Hi-net)

防災科研が整備・運用している、全国約 800 点に配置した地震観測網で、人間活動などによる雑音(ノイズ)を避けて微小な地震波をとらえるために、地中に掘った井戸(ボーリング孔)の中に、微弱な振動まで高い精度で計測できる高感度地震計を置いて観測しています。これらのデータは、インターネットで広く公開され、地球の内部構造の解明などの基礎的な研究にも活用されるとともに、気象庁や大学にリアルタイムで配信され、気象庁から発表される緊急地震速報や、大地震から微小地震まで地震の発生個所の特定に貢献しています。

[参考 URL] <http://www.hinet.bosai.go.jp/>

連絡先

独立行政法人 防災科学技術研究所

アウトリーチグループ 大石、三好 (電 話 : 029-863-7784)

地震・火山防災研究ユニット 棚田

御嶽山



図1 御嶽山と開田高感度地震観測施設(N. KADH)との位置関係。本地図の作成には電子国土Webシステムを使用した。

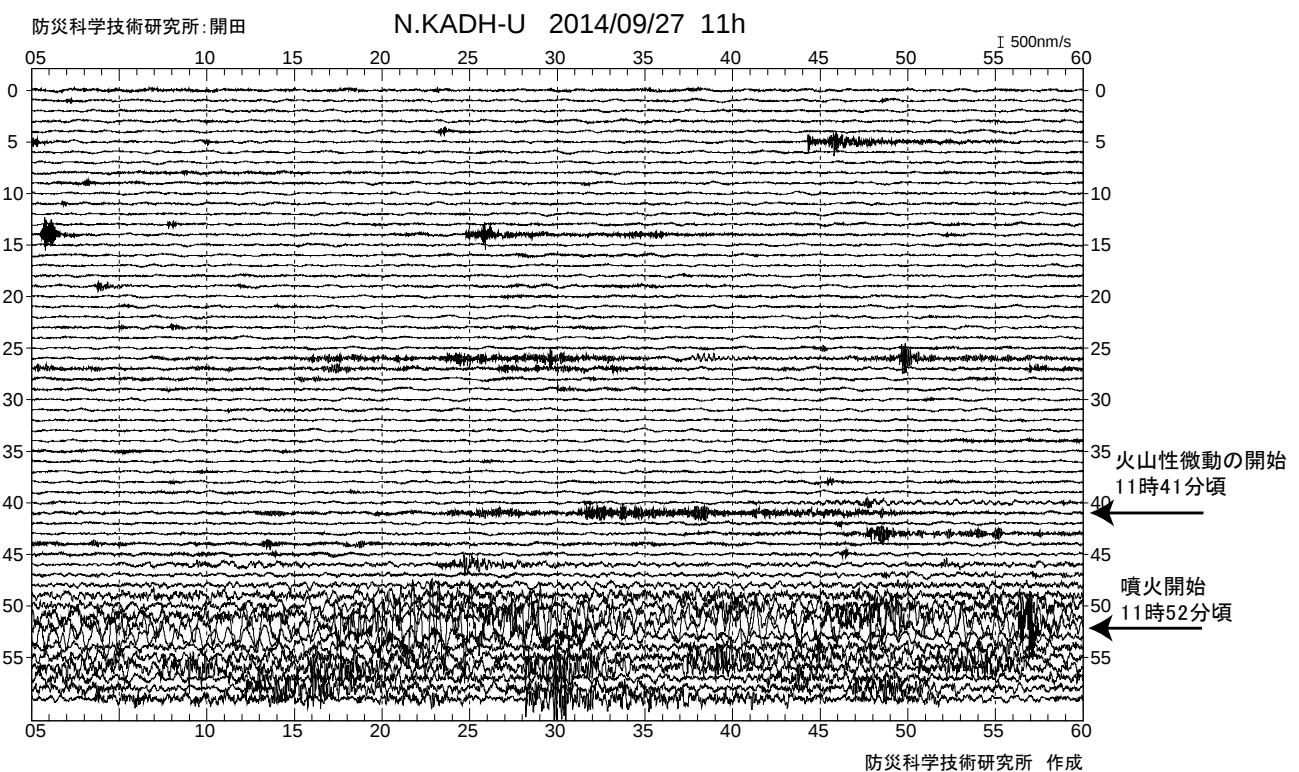


図2 開田高感度地震観測施設(N. KADH)の1時間の地震計記録(2014年9月27日午前11時台)。矢印で差した時刻に火山性微動が記録されている。